

## 満足度調査（2022年度）分析結果

学修支援センター  
2023年7月14日

本資料は、2022年12月20日から2023年1月20日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、満足度に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、抽出形式で2013年度前期から、悉皆形式で2017年度前期から年2回ずつ行ってきた。しかしながら、最近、学生向けの別調査やアンケートの機会も増えてきたことも踏まえ、2019年度からは学修状況と満足度を年度末にまとめて調査している。

今回の調査は、本学が学生に提供しているWebサービスを用いて全学生を対象として実施した。また、これまでと同様、学修支援センターに在籍する教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表1に示す。回答数のばらつきはあるが、薬学部を除く学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は14.2%と、前回の17.0%より2.8ポイント低い結果となった(前回は23.6%)。コロナ拡大前の2019年度からは回答率の減少が続いているが、前年度とは同程度といえる。回答率を上げるには教職員向けに調査の趣旨などを周知し、多面的なチャンネルから学生への回答依頼を行うなどの手段が考えられる。回答しているのは比較的真面目な学生であると思われ、全体からの無作為抽出とはいえないので、以降の分析結果はそのことを考慮して評価する必要がある。

表1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1年生	7名	10名	8名	1名	26名
2年生	13名	12名	3名	0名	28名
3年生	13名	9名	8名	6名	36名
4年生	24名	21名	3名	13名	61名
5年生				6名	6名
6年生				8名	8名
学部計	57名	52名	22名	34名	165名

今回の調査項目（満足度部分）は、これまで同様、学修に関する満足度と学生生活に関する満足度の両方に関する質問とした。また、「学修状況・満足度調査」の学修状況に関する部分については「学修状況調査（2022年度）分析結果」にまとめている。

まず、学修支援の利用状況について尋ねた。これは今年度新設した質問で、項目は以下の通りである。いずれも選択肢は「よく行う」「たまに行う」「ほとんど行わない」「行わない」とした。

1. 担当教員への質問
2. オフィスアワーの利用
3. 先輩や同級生の支援
4. 担当以外の教員への質問
5. 学生相談窓口の利用
6. その他の学修支援の利用

以降、それぞれの質問に対しての分析結果を述べる。

担当教員への質問を「よく行う」「たまに行う」と回答した学生は全体で 60.0%、学部別では薬学部が 64.7%、ソフトウェア情報学部が 59.1%、社会学部が 57.7%、総合経営学部が 59.6%と、いずれも 6 割前後となった。学年別では 1～6 年生の順に 46.2%、53.6%、50.0%、71.7%、71.4%、75.0%と、学年が上がるにつれて質問することが多くなっている傾向がある。学部にもよるが、ゼミ・研究室に所属することで質問の機会が増えているためと考えられる。

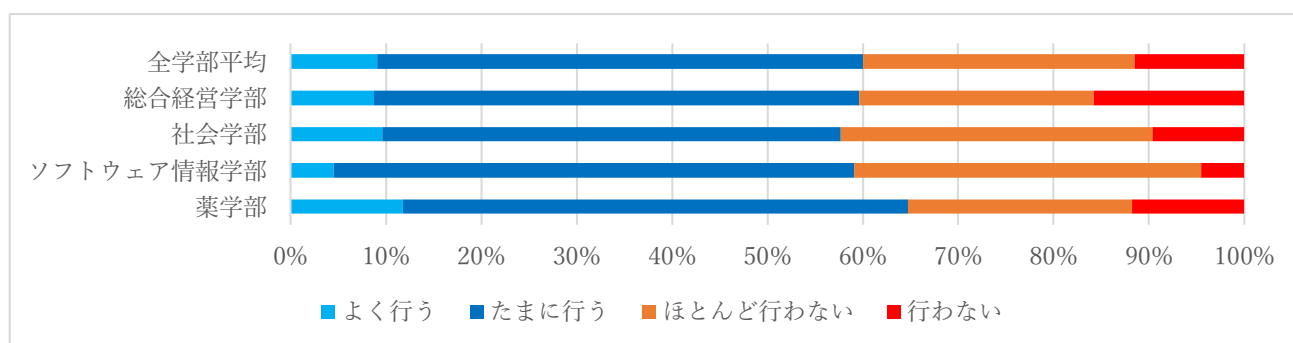


図1 質問3-1. 担当教員への質問

オフィスアワーの利用を「よく行う」「たまに行う」と回答した学生は全体で 28.5%、学部別では薬学部が最も多い 50.0%、次いで総合経営学部、社会学部、ソフトウェア情報学部の順となった。ソフトウェア情報学部の数値が低いのは、基本的にオフィスアワーに限定せずに対応することをガイダンス時に説明し、そのように対応していることが原因だと考えられる。学年別では 1～6 年生の順に 19.2%、21.4%、30.6%、33.3%、14.3%、50.0%となった。

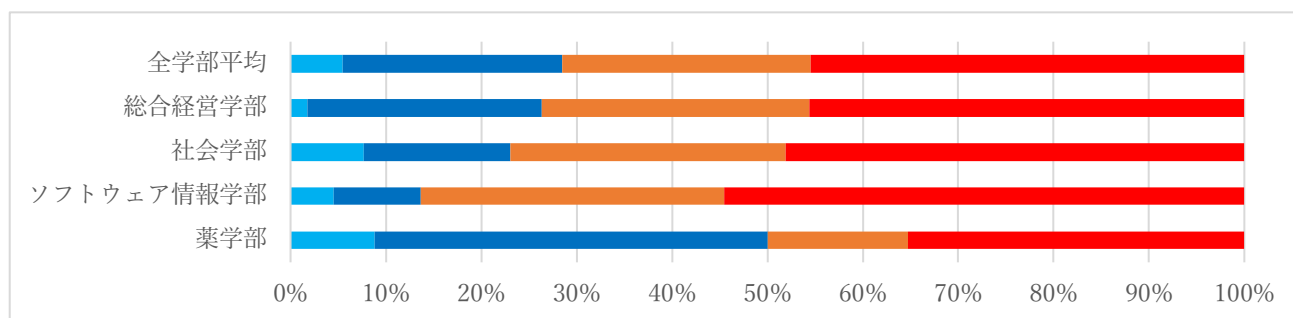


図2 質問3-2. オフィスアワーの利用

先輩や同級生の支援を求める行動を「よく行う」「たまに行う」と回答した学生は全体で 50.9%、学部別では薬学部が最も多い 61.8%、次いで総合経営学部、ソフトウェア情報学部、社会学部の順となった。学年別では 1～6 年生の順に 69.2%、42.9%、47.2%、41.7%、100.0%、62.5%となった（薬学部 5 年生の 100.0%はいずれも「たまに行う」）。

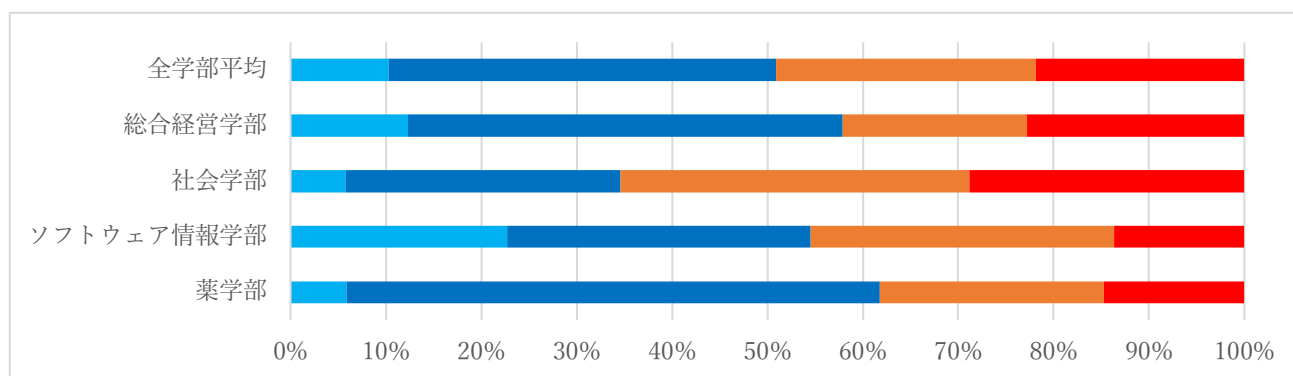


図3 質問 3-3. 先輩や同級生の支援

担当以外の教員への質問を「よく行う」「たまに行う」と回答した学生は全体で 35.2%、学部別では薬学部が最も多い 50.0%、次いで総合経営学部、ソフトウェア情報学部、社会学部の順となった。学年別では 1～6 年生の順に 23.1%、32.1%、36.1%、36.7%、42.9%、62.5%となった。

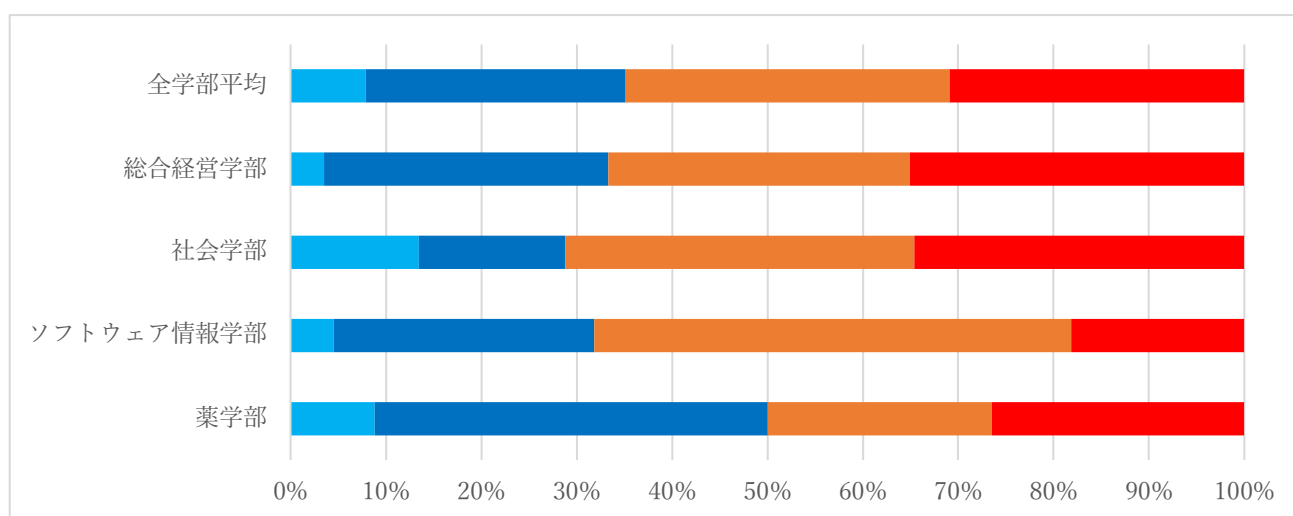


図4 質問 3-4. 担当以外の教員への質問

学生相談窓口の利用を「よく行う」「たまに行う」と回答した学生は全体で 13.3%、学部別では総合経営部が 21.1%、ソフトウェア情報学部が 18.2%と多く、薬学部と社会学部はそれぞれ 5.9%、7.7%となった。学年別では 1～6 年生の順に 19.2%、14.3%、11.1%、11.5%、16.7%、12.5%となった。

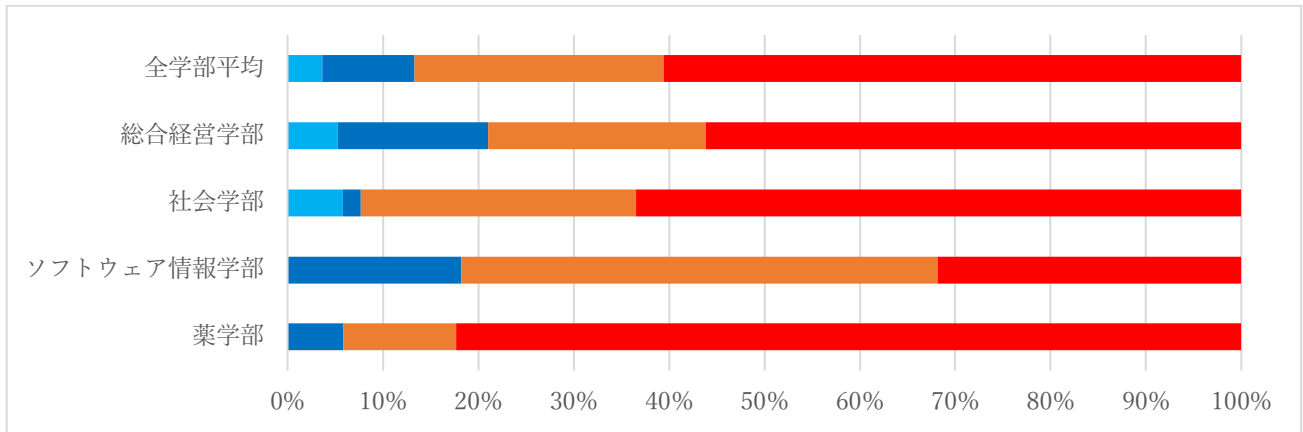


図5 質問 3-5. 学生相談窓口の利用

その他の学修支援の利用「よく行く」「たまに行く」と回答した学生は全体で 12.7%で、学部別、学年別いずれも大きな差は見られなかった。数値の低さの原因は質問に「その他の学修支援」にあたるものが具体的に記述されていなかったためと思われる。

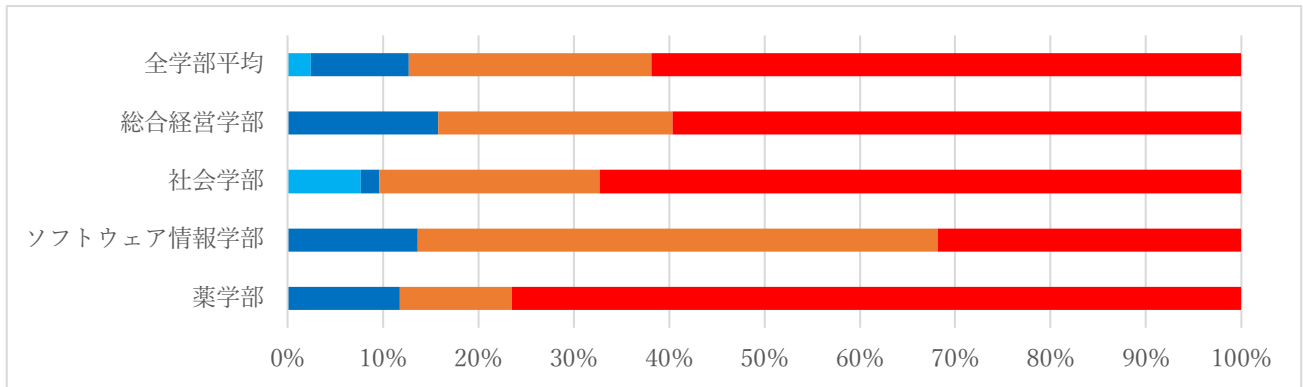


図6 質問 3-6. その他の学修支援の利用

次に、学修支援や学修環境に対する全体的な満足度について尋ねた。選択肢は「満足」「どちらかといえば、満足」「どちらかといえば、不満」「不満」「分からない」とした。また、自由記述形式でその回答の理由を記述してもらった。

「満足」「どちらかといえば、満足」と回答した学生は全体で78.2%、学部別では薬学部が73.5%、ソフトウェア情報学部が90.9%、社会学部が78.8%、総合経営学部が75.4%と、いずれも高い値となった。学年別では1～6年生の順に80.8%、64.3%、77.8%、83.3%、100.0%、62.5%となった。

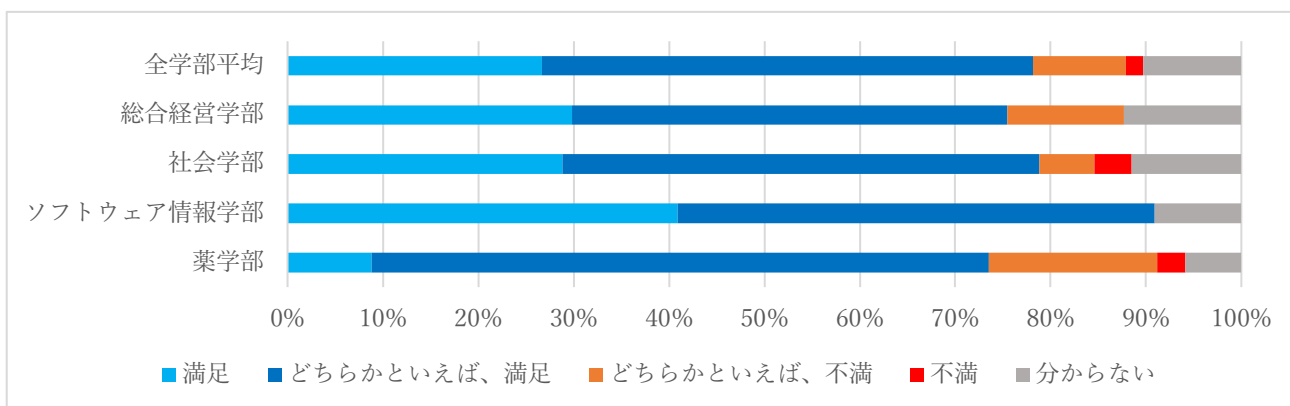


図7 質問4. 学修支援や学修環境に対する満足度

次に、学生サービスなどの正課教育以外の支援の充実度について尋ねた。これも今年度新設した質問で、項目は以下の通りである。いずれも選択肢は「充実している」「どちらかといえば充実している」「どちらかといえば充実していない」「充実していない」「わからない」とした。

1. 身体や健康に関する支援（保健室）
2. 心やメンタル面の支援（カウンセリング制度）
3. 部・サークルの活動支援
4. 学生や教職員との人間関係に関する支援
5. 全般的な支援（相談窓口）
6. 学費、生活費の支援

以降、それぞれの質問に対しての分析結果を述べる。

身体や健康に関する支援（保健室）について「わからない」を除く回答者に対する「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した学生は全体で 80.5%、学部別では薬学部とソフトウェア情報学部が 88.2%、87.5%と高く、次いで総合経営学部が 80.6%、社会学部が 71.4%となった。学年別では 1～6 年生の順に 88.9%、61.5%、84.6%、79.4%、100.0%、100.0%となった。母数から「わからない」を除いたのは、身体や健康に関する支援を必要としていないか利用経験がない者を除くためである。

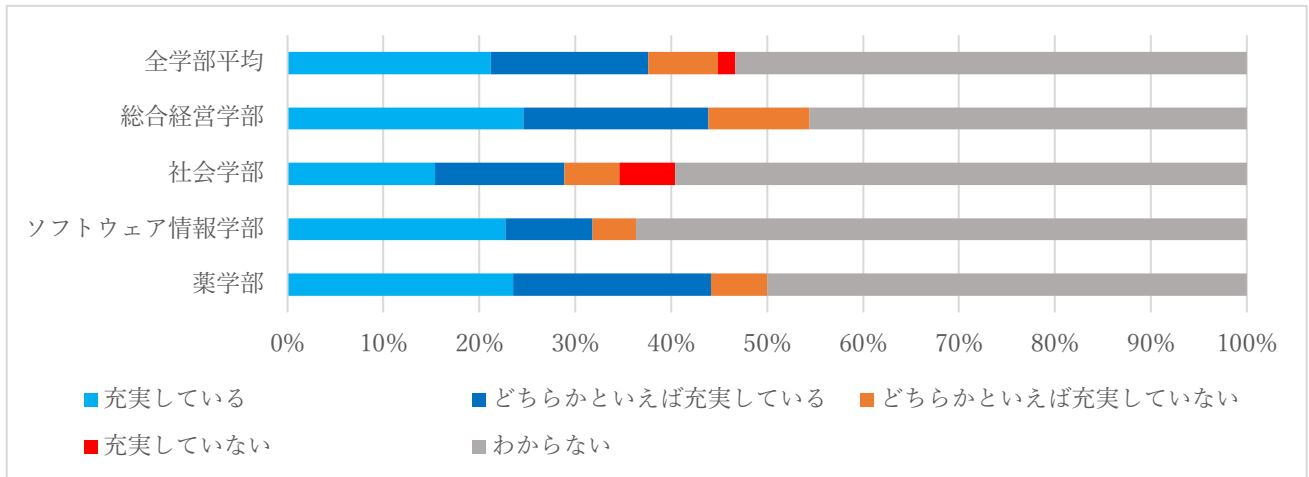


図8 質問 6-1. 身体や健康に関する支援（保健室）

心やメンタル面の支援（カウンセリング制度）について「わからない」を除く回答者に対する「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した学生は全体で 82.7%、学部別では薬学部とソフトウェア情報学部が 94.7%、88.9%と高く、次いで総合経営学部が 82.8%、社会学部が 66.7%となった。学年別では 1～6 年生の順に 83.3%、69.2%、84.6%、83.3%、100.0%、87.5%となった。

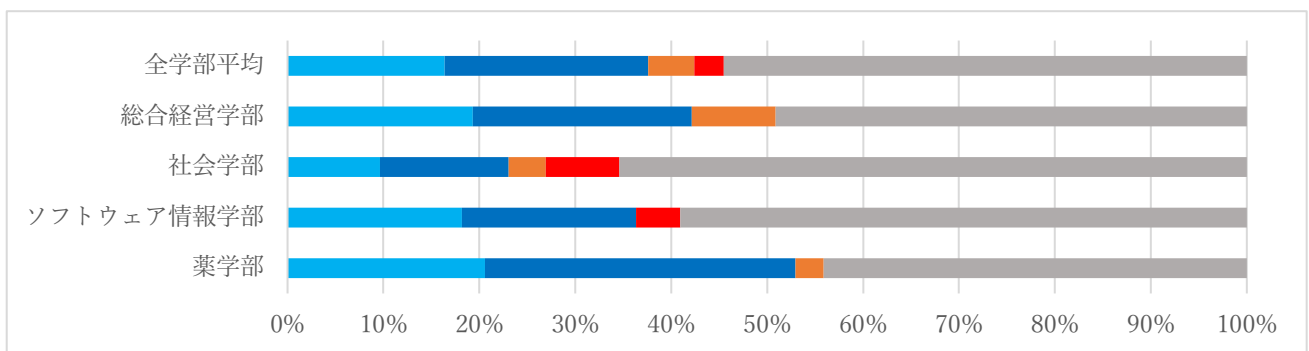


図9 質問 6-2. 心やメンタル面の支援（カウンセリング制度）

部・サークルの活動支援について「わからない」を除く回答者に対する「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した学生は全体で 75.7%、学部別では総合経営学部が 80.6%と高く、次いで薬学部が 75.0%、ソフトウェア情報学部が 71.4%、社会学部が 69.6%となった。学年別では 1～6 年生の順に 91.7%, 81.8%, 64.3%, 75.8%, 50.0%, 50.0%となった。

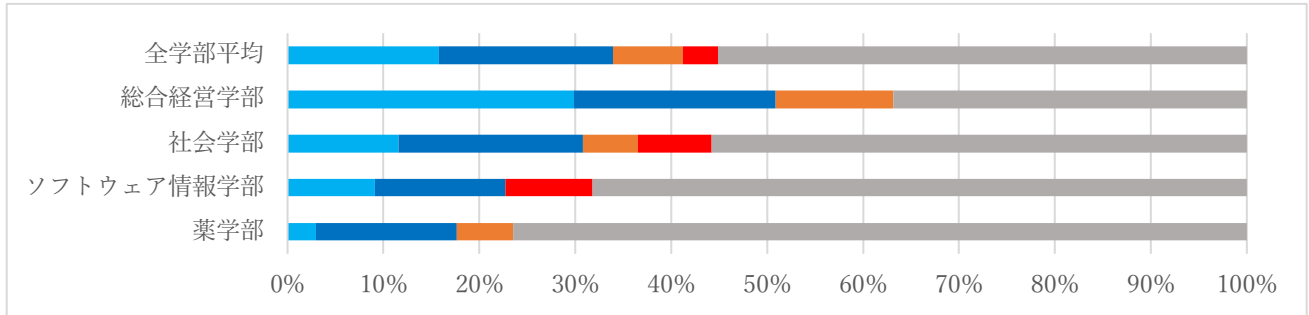


図 10 質問 6-3. 心やメンタル面の支援 (カウンセリング制度)

学生や教職員との人間関係に関する支援について「わからない」を除く回答者に対する「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した学生は全体で 88.8%、学部別ではソフトウェア情報学部が 93.3%と高く、次いで総合経営学部が 91.9%、薬学部が 90.5%、社会学部が 82.4%となった。学年別では 1～6 年生の順に 92.3%, 84.2%, 82.6%, 95.1%, 100.0%, 71.4%となった。

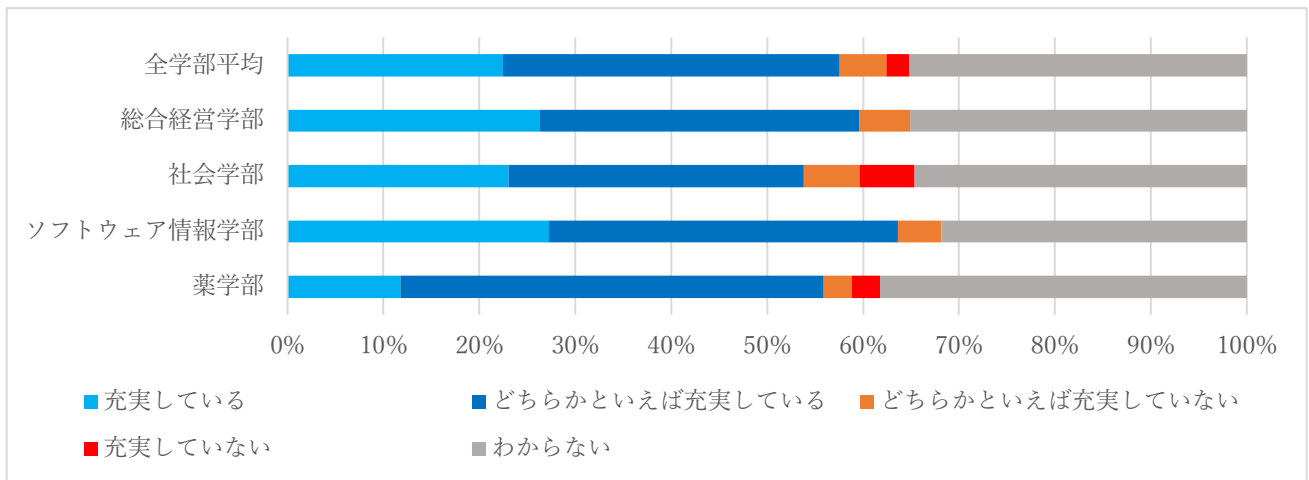


図 11 質問 6-4. 学生や教職員との人間関係に関する支援

一般的な支援（相談窓口）について「わからない」を除く回答者に対する「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した学生は全体で 90.6%、学部別ではソフトウェア情報学部が 100.0%と高く、次いで薬学部が 85.7%、総合経営学部が 97.0%、社会学部が 82.1%となった。学年別では 1～6 年生の順に 100.0%, 87.5%, 86.7%, 94.7%, 100.0%, 62.5%となった。

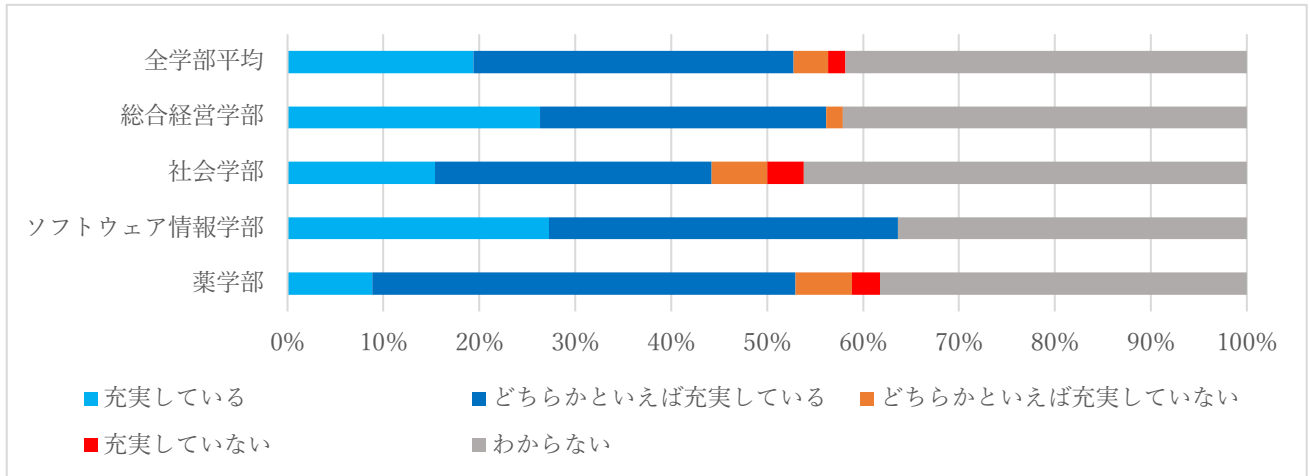


図 12 質問 6-5. 一般的な支援（相談窓口）

学費、生活費の支援について「わからない」を除く回答者に対する「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した学生は全体で 77.5%、学部別ではソフトウェア情報学部が 94.4%と高く、次いで総合経営学部が 77.1%、社会学部が 73.1%、薬学部が 71.4%となった。学年別では 1～6 年生の順に 94.4%, 57.1%, 84.6%, 81.0%, 100.0%, 37.5%となった。

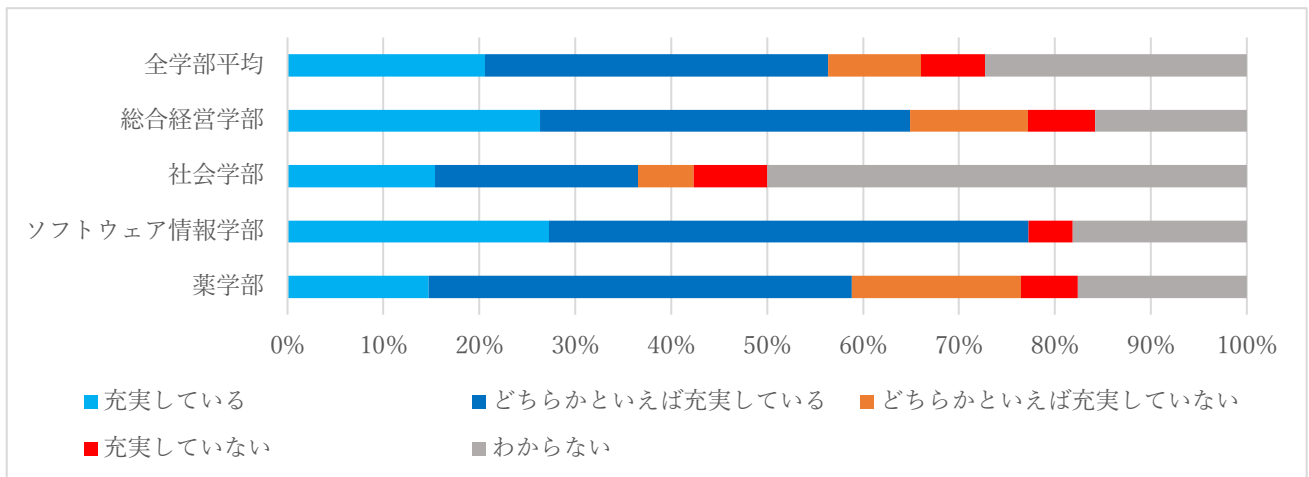


図 13 質問 6-6. 学費、生活費の支援



次に、本学での支援や学修環境についての満足度について尋ねた。選択肢は「満足」「どちらかといえば、満足」「どちらかといえば、不満」「不満」「分からない」とした。また、自由記述形式でその回答の理由を記述してもらった。

「満足」「どちらかといえば、満足」と回答した学生は全体で70.3%、学部別では薬学部が70.6%、ソフトウェア情報学部が77.3%、社会学部が69.2%、総合経営学部が68.4%と、いずれも7割前後となった。学年別では1～6年生の順に69.2%、64.3%、61.1%、80.0%、85.7%、50.0%となった。

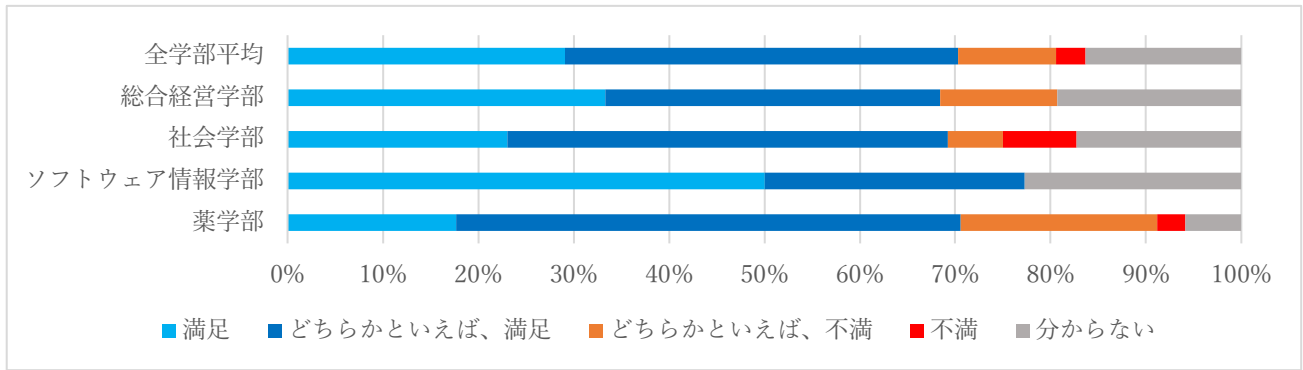


図14 質問7. 支援や学修環境に対する満足度

質問5と8(自由記述)のうち、質問4と7で「満足」「どちらかといえば、満足」と回答した学生からは、

- ◇ 担当教員のみならずすべての先生は授業以外の質問でも応じてくれることは助かっており、いいと思っています。
- ◇ 机上の空論だけで終わらせる授業が少ないから
- ◇ 公務員の勉強など、自分がしたい勉強ができる環境があるから。
- ◇ 成績が良い人には学費を免除する制度があるから。
- ◇ 手続きなどで分からないことがあって質問すると、親切に答えてくれてよかったから。
- ◇ 特待制度による授業料免除があるから
- ◇ 奨学金制度とかがあるため友達も助かっているという意見を聞いたから

など、授業内容・方法、教職員のサポート、支援制度及び学修環境に関する回答が寄せられた。一方、「不満」「どちらかといえば、不満」と回答した学生からは、

- ◇ 学生に対する指導や対応が丁寧な先生もいれば、逆にそうではない先生もいるように感じたから。
- ◇ いろいろな面での相談や各面談など行って欲しい
- ◇ 学費減免制度は整っていると思う
- ◇ エアコンのついていない教室があるから。
- ◇ 夜遅くまで研究室に残りたいのに暖房で場所を制限されてしまってるから

など、授業方法、支援制度や学修環境の改善に関する回答が寄せられた。